

平成 30 年度 人事交流の様子

○大学⇒協力施設(公立高畠病院)

◇ 公立高畠病院

派遣者：本学看護学科助教 栗田敦子

期間：8月23日（木）～8月29日（水）

*土日を除く



【研修内容】

1日目	午前	オリエンテーション：外来案内、フットケア外来の見学
	午後	一般病棟の見学：転棟引継ぎ、退院支援カンファレンス、神経内科医師による回診、病棟スタッフの研修報告
2日目		訪問看護ステーション：同行訪問5件
3日目		地域包括ケア病棟：リハビリテーション見学、言語聴覚士の食事摂取評価、退院調整カンファレンス
4日目		医療保険適用型療養病棟：褥瘡・壊死創処置、STによる食事介助と栄養指導、多職種カンファレンス、ミストバス介助見学
5日目	午前	医療連携相談室：MSWの役割、退院支援・退院調整の実際、相談業務
	午後	講演会「地域包括ケアシステムと地域医療について」 高畠町保健医療統括監 加藤修一先生

【研修成果・所感】

- 地域密着、かつ地域完結型の病院という特徴のある病院で、看護師をはじめ病院の職員が一丸となり患者の健康を支える役割は、多面的で奥行きのあるものであると印象を受けた。
- 多くの高齢者(住民)の体調の悪化が生活の流れの中に存在することを改めて認識し、生活への支援が治療と並列した重要な位置づけにあることを再確認できた。
- 私たち看護師が、患者の生きてきた姿勢や病への思いを受け止めながらケアしていることを再確認できた。
- 地域で暮らす患者や療養者のご家族の声を聴くことができてよかった。山形に来て、研究の対象とする人たちの思いを直接聴ける機会がなかったが、今回の人事交流を通して、研究の計画に役立てることができる情報を得ることが出来た。